

「障害者の日」記念事業

からまつ園・こぞくら園

12月9日の「障害者の日」の普及・啓蒙を図り、地域の方々に障害者福祉についての関心と理解を深めてもらおうと、同日、からまつ園・こぞくら園で記念事業が行われ、JAふらの南富良野支所女性部長の岩永かずえさんが1日総合施設長を、民生委員の松井美世さんと田口ひろ子が1日支援員を務められました。

3人は、両施設の園長より辞令を交付されたあと、職員と利用者で紹介され、施設の概要説明と内部の案内を受けました。

このあと、岩永さんは園長の決裁事務などを行い、利用者が実習でお世話になっている町内の職場



△ 慎重に園長決裁をする岩永さん

を表敬訪問。松井さんと田口さんは、両園に別れて、納品前の年賀状の枚数確認や陶芸作品の制作、昼食の準備などの生活援助を体験して、福祉活動と利用者への理解を深めていました。



△ 陶芸品の制作をする松井さん(右)



△ 年賀状の枚数を確認する田口さん(右)

シリーズ 学校だより

各学校の取り組みを紹介します。

▶▶ 金山中学校 ▶▶▶

活躍が楽しい卓球部

今年度の金山中学校は、異動がなかった6名の教職員と7名の生徒でスタートしました。小規模の単独中学校として存続できる日数も限られてきて、不安や心配はありますが、生徒も教師も一生懸命教育活動に取り組んでいます。

本校では、7名の生徒全員が卓球部に所属し、安藤教諭と森田教諭の両顧問のもと、放課後3時半から夏は6時まで、冬は5時まで熱心に練習をしています。その成果として、2年生の松本真璃雅さんが各種大会女子シングルに出場し、4度も優勝しています。もちろん他の生徒も一段と成長し、今後の活躍が楽しみです。



△ 卓球の練習に励む男子部員



△ 学校祭で「福祉」をテーマに発表

高齢者福祉体験学習から

総合的な学習の時間では、「高齢者福祉」をテーマに取り組んでいます。10月上旬に生徒全員が町社会福祉協議会ヘルパーの指導をいただき、独居老人のお家でデイサービス業務を体験しました。

日頃、祖父母と一緒に暮らしている生徒も、初めて一人暮らしの老人家庭を訪れて介助することは大変に難しかったようです。それでも、指導員の方に教わりながら、何とか役割を無事終えて、「人の役に立ったんだ」という実感を味わいました。生徒の感想には、「どう話しかけてよいのか難しかった」「こうした体験をもっとしてみたい」などがあり、あらためて体験学習のすばらしさを感じました。